

# 熊谷市立富士見中学校



## 「持続可能な社会づくりに、主体的に参画しようとする生徒の育成」

団体・学校の特徴	『知・徳・体』のバランスのとれた日本一の富士見中生」を学校教育目標として、一人一人を大切に「本気」の教育活動に取り組んでいる。また、教科横断的でオーセンティックな授業である「新熊谷プロジェクト」の取組を実践し、総合的な学習の時間を中核としたカリキュラム改善により、汎用的能力の育成をめざしている。				
所在地（市町村名）	熊谷市	会員数又は児童生徒数	706名	活動期間	1年

**活動内容**  
 探究的な見方・考え方を活用し、自ら課題を見つけ、設定し、課題解決に向けて情報を収集し、整理、分析し、まとめ、「20年後、誰もが住み続けたい熊谷市」をつくるために・・・熊谷市への政策提言」を通して「持続可能な社会」の実現を目指していく。

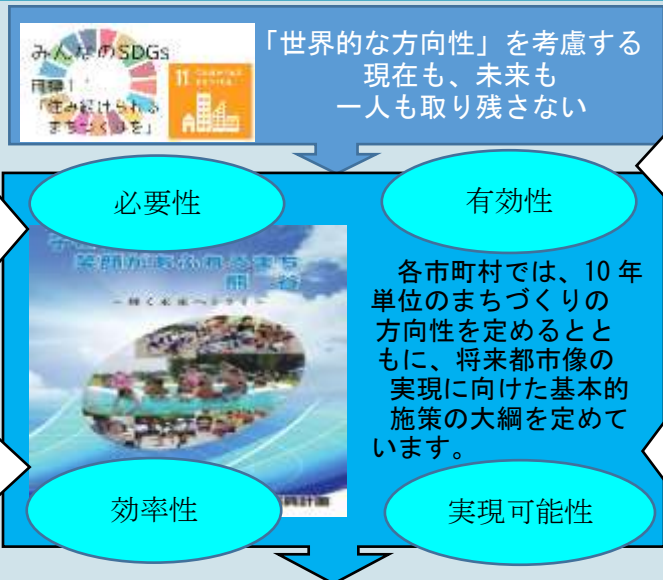
### 特徴的な活動



**①現在の熊谷の政策動向を知る**  
 「熊谷市総合振興計画」の読み取りを行い、発表する。  
 政策1～8とあるうち、2～7の6つの政策のまとまりを、グループごとに資料を基に調べ、他の班員に知らせる活動を行い、熊谷市の現在の政策の動向の詳細を把握する。



**③政策提言の発表に向けて**  
 「20年後にも残しておきたい場所・こと」と「ここは改善しておきたい場所・こと」などを調査したり、ゲストティーチャーを招いて、政策案について検討したりする工夫をした。



**②提言したい政策の検討をする**  
 以下の6つのテーマについて各クラスで分担して提言したい政策を考える。  
 他市の政策や書籍・ネットなど、資料を総動員して根拠を基に言えるようにすること。  
 ・環境保全 ・防災、防犯  
 ・子育て、教育 ・高齢化対策  
 ・多様性のある社会 ・産業振興

**④政策提言の発表**  
 「政策」を発表しあい、どのアイデアが熊谷市にとって最も効果的かつ効率的で実現可能性のある政策提言になるのか検討しよう。いかに資料をもとに根拠を明らかにして、説得力のあるプレゼンになっているかがポイントである。



### “20年後、誰もが住み続けたい熊谷市”をつくるために・・・熊谷市への政策提言

**【熊谷市への政策提言】**(例)・多種多様性（公共施設や学校の階段に「階段昇降機」等の機械を設置する） ・高齢者対策（企業、食品メーカーや大学などと連携しおいしい減塩メニューの開発 ・環境問題（各自治会別に細かい分別） ・産業振興（地元で成り立つ活発的な商店街にする）  
 ・安心・安全な街づくり（防災ガイドブックを作る） ・子育て 教育（子育て世帯の税を軽くする）  
**【指導講評】**・生徒の考えた政策提言は、市役所の各担当部署の方からご助言をいただき、これを学年全体で共有し、卒業後の生活に生かしていく。  
 ※可能であれば、市役所の方が学校に来校していただき、直接生徒に助言をいただくと、生徒の意欲の向上につながるものと考えます。

